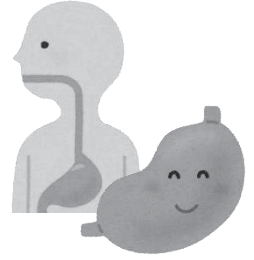


胃がん検診を受けられる方へ

～最後に胃がん検診を受けたのは、何年前ですか？～

コロナ禍によるがん検診受診控えによって、「がん」が進行してから発見されるケースが報告されています。自覚症状のない早期胃がんの発見は、身体に負担の小さい内視鏡による治療などの選択肢を広げます。コロナを恐れず、定期的に胃がん検診を受診してください。



当協会では、消毒や定期的な換気などの感染予防対策を徹底し、安心して健診を受診していただけるための環境確保に努めています。

check!



以前より受診の制限が緩和されました



バリウムによる胃がん検診を**受けることができない方**、
確認と説明を要する方 事前にお読みの上、ご確認ください☐

1. バリウムによる胃がん検診を**受けることができない方**

- 起床後、食事や200ml以上の水分を摂った方
- 妊娠中、または妊娠中の疑いがある方
- 消化管穿孔・急性出血の疑いがある方
- 腎疾患や心疾患などで、水分や運動制限がある方
- 起床後、インスリン注射や血糖降下剤を服用した方
- 過去にバリウムや発泡剤で過敏症・アレルギー発作を起こしたことがある方
- 胃を全摘している方
- 炎症性疾患（クローン病や潰瘍性大腸炎）で治療中の方
- 排便が3日間以上ない方（昨日・一昨日・一昨日ない方）
- ポリープ切除後2か月未満の方や腹部切開術後6か月未満の方

2. 確認と説明を行い、同意のもとに胃がん検診を**受けることができる方**

- 過去に腸閉塞を患い、便秘の兆候が ▶ない⇒受診可能 ▶ある⇒不可
- 大腸憩室があり、腹痛の症状が ▶ない⇒受診可能 ▶ある⇒不可
- 過去に誤嚥をした ▶放射線技師の指示の下、バリウムをゆっくりお飲みください
- 血圧が180/110mmHg以上 ▶降圧後に撮影を実施します
- 人工肛門の方 ▶検査後、真っ白い水様便が排泄されます
- 体重が130kg以上の方 ▶回転の際は、ゆっくり動いてください

検診時の服装

無地のTシャツが理想です！

着替えが容易なファスナー式が便利！

プラスチック製の肩ひも調整付きは脱いでいただきます

スポーツタイプやカップ付きインナーが理想です！ただし締め付けのきつくないもの

ボタン・金具・ファスナーのないスカートでも可

ジャージが便利！
ストッキング・タイツは避けてください

検査に影響を与えるもの

- 湿布
- ネックレス
- キャミソール
- 使い捨てカイロ
- 金具付きブラジャー

検査の流れ

検査前日

前日の夕食は、消化の良いものを夜9時までになすませてください。
水分は、就寝前までとっていただいて大丈夫です。

検査当日

何も食べたり、飲んだりしないでください。
※喫煙・飴・ガム・入れ歯安定剤も含まれます。入れ歯安定剤を使用するとバリウムの付着が悪くなります。
飲み薬（血圧・心臓病など）は、起床後すぐに100ml（コップ半分）以下の水で飲んでください。
当日、体調がすぐれないときは受診をお控えください。

検査後

下剤と水500ml入りペットボトルと検査後の注意書きをお渡しします。
検査後すぐにお飲みください。バリウム便が出るまで、水をたくさん飲んでください。